

8月20日（木）、1年生理数科を対象に、石川県鳳珠郡能登町にある、石川県水産総合センターと金沢大学能登海洋水産センターを見学する先端科学実験施設研修を行いました。両施設において水産研究の講義を受け、その研究施設を見学することで、先端科学への理解を深めるとともに、科学への興味・関心を高め、生徒は研究者の方に質問をするなど、積極的な姿勢で研修に臨んでいました。

石川県水産総合センター

金沢大学能登海洋水産センター



☆生徒の感想☆

- 先生方の研究への姿勢や熱量、そして内容に感動しました。講義を受けて新しい知識を知ることができて良かったです。また、研究していることは今ある世界中の問題の解決へつながっており、素敵なことであると感じました。
- 七尾に住んでいる身として漁業は身近にあるものだったけど、詳しくは知らなかったので、石川県の漁業の特色について知るいい機会になったと思います。
- 私たちの生活をより良くするために様々な調査や研究が行われており驚いた。また、食糧問題や日本人の魚離れなど、未来が抱える問題を解決するための研究について知ることができ、とても勉強になった。
- 石川県は東西で水温や流れが大きく変わるので複雑だが、様々な漁法で様々な魚類を捕ることができる良い漁場であると分かった。
- 今の日本では魚の養殖を盛んにすることが重要であり、それに関して日々研究している施設の方々はすごいなと思いました。
- 漁業の振興を目指すという1つの目的でも多彩なアプローチの方法があると分かった。トラフグの麻酔実験では化学の凄さと、生物の力強さを体感できた。そして、研究において誰も知らないことを解き明かし、新しい可能性を見出すには対象に問いかけ続けること、複雑なものを単純化すること、思い通りにいかないことを恐れず、今を楽しむことが重要と知れた。
- 漁業に関する仕事は、漁師だけではないことを痛感した。